

「地域課題分野」(平成26年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
殿ダム貯水池における異高同時取水による選択取水設備の効率的運用 (研究期間：H26年～H27年)	鳥取大学 矢島 啓	A
<研究概要> <p>殿ダムには連続サイフォン式選択取水設備が設けられ、複数の異なる水深から取水する異高同時取水が試みられているが、ゲート毎の取水量が不明である。そこで、まず現地において各ゲートからの取水状況や湖内の水温分布等についてのデータを取得する。その上で、水温成層形成下における各ゲートからの取水量式を定式化するとともに、それを3次元水質予測モデルに組み込み、水温管理の観点から異高同時取水を効果的に行う手法を明らかにする。</p>		
<事後評価コメント> <p>異高同時取水時の放流水温の推定式を構築することによって、選択取水設備の運用による水温管理に関する議論などがなされていることから、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後は、より汎用的なモデルに改良するとともに、水温管理の観点での貯水池運用に関する課題設定についても検討を深めるなど研究を進展させることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い